

1. 授業の概要(ねらい)

＜就職活動に役立つ「国際金融」を中心とした現在の経済・金融の知識を身に付ける＞

- ① 学生が「日本経済新聞」の主要な記事の内容・意見をプレゼンテーション・ディスカッションし、小職が分かり易く追加解説することによって、経済・金融・経営分野の実践的な知識を身に付ける。その後、小職が理論的な解説を加える。
- ② 学生が「テキスト」を順番に輪読し、小職が追加解説することによって、理論的な知識を身に付ける。
- ③ フィールドワーク(校外活動)として、小職が15年行っている「社会貢献公開講義」への参加し(希望制)、社会人と交流を深め、就職力を強化する。

海外勤務も含めた27年のメガバンク勤務や当局の審議会で得た「金融全般の知識」も出来る限り、分かりやすく供与したい。
この実践的な知識習得と能力向上のプロセスは、面接官をしていた小職からみても、就職活動に役立つことは確信している。 < 博士(経済学)・エコノミスト・元三菱UFJ銀行(27年勤務)>

2. 授業の到達目標

就職活動に役に立つ「国際金融」を始めとした経済・金融の知識を身に付けること。
「日本経済新聞」を理解できること。
「テキスト」の内容を身につけること。

3. 成績評価の方法および基準

出席・試験・小レポート等による評価。

4. 教科書・参考文献

教科書

宿輪純一 『通貨経済学入門(第2版)』 日本経済新聞出版社

宿輪純一 『決済インフラ入門[2020年版]』 東洋経済新報社

参考文献

宿輪純一・藤巻健史 『円安VS円高(新版)』 東洋経済新報社

宿輪純一 『アジア金融システムの経済学』 日本経済新聞出版社

5. 準備学修の内容

日本経済新聞の毎日の読み。テキスト及び参考文献の読み進み。

6. その他履修上の注意事項

講義への出席とまじめな受講態度。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
②経済情勢の解説(2テーマ)
③テキストの輪読(5ページ) |
| 【第3回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
②経済情勢の解説(2テーマ)
③テキストの輪読(5ページ) |
| 【第4回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
②経済情勢の解説(2テーマ)
③テキストの輪読(5ページ) |
| 【第5回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
②経済情勢の解説(2テーマ)
③テキストの輪読(5ページ) |
| 【第6回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
②経済情勢の解説(2テーマ)
③テキストの輪読(5ページ) |
| 【第7回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
②経済情勢の解説(2テーマ)
③テキストの輪読(5ページ) |
| 【第8回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
②経済情勢の解説(2テーマ)
③テキストの輪読(5ページ) |
| 【第9回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
②経済情勢の解説(2テーマ)
③テキストの輪読(5ページ) |
| 【第10回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
②経済情勢の解説(2テーマ)
③テキストの輪読(5ページ) |
| 【第11回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
②経済情勢の解説(2テーマ)
③テキストの輪読(5ページ) |

- 【第12回】
 - ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
 - ②経済情勢の解説(2テーマ)
 - ③テキストの輪読(5ページ)
- 【第13回】
 - ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
 - ②経済情勢の解説(2テーマ)
 - ③テキストの輪読(5ページ)
- 【第14回】
 - ①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説(2記事)
 - ②経済情勢の解説(2テーマ)
 - ③テキストの輪読(5ページ)
- 【第15回】
 - まとめと試験